

『五色桜』植樹候補地と 『足立区あらかわ市民会議』について

昨年の春から夏にかけて、個々人で、又、5月29日には大勢の理事達と一緒に、主として区内の荒川右岸土手を歩き見て回り、桜が植えられそうな場所を検討しました。その後、現地を植栽の専門家に見て頂き、色々な観点から、柳原地区の土手外側の約200m（約20本の五色桜植樹が可能と判断）を最適な候補地として選択しました。この柳原・千住旭町地区には街路樹として、約150本の染井吉野が植えられておりますので、その延長線上としても恰好の位置にあります。

柳原・日の出町及び千住旭町・千住東等の常東地区の多くの方々も、概ね「それはいいね、是非やって下さい」と賛同してくれております。

常東地域にお住まいの方々はもちろんですが、近隣の千住地域や足立区の内外を問わず、出来るだけ多くの賛同者や会員を増やそうと努力しております。

「足立健康友の会」の千住西支部や北千住支部の皆さんにもご協力をお願いしております。今年は他の理事さん及び会員の皆さんにも更にお力を添えていただき、会員数1000名を目標に活動の輪を広げて行きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

一方、昨年の3月公募された第5期『足立区あらかわ市民会議』の区民委員（14名）に、幸運にもこの会のメンバーが3名選ばれました。

この会議の目的は、市民や学識経験者、企業、行政が一同に会し、荒川の持つ様々な価値や機能について知識を深め、これを守り育てていくことを活動の趣旨とし、その目的は、荒川の将来像計画を実現するために責任を持って自分で行動し、荒川の将来を考える協議会に対して評価や提言を行う ものです。

この区民委員の任期は残り1年ですが、私達の最終目的である「荒川土手に五色桜を復活させる」ための活動も、今年からこの市民会議のテーマの一つに取り上げられました。国交省荒川下流河川事務所及び足立区と、まともに協議できる場ができたことは大きな前進と考えます。

『荒川土手に桜を植える会』の悲願が、どうすれば実現出来るのか、出来ないのか、近く行政より回答をいただくところまで来ておりますが、会員を含む多くの方々のご支援をバックにして、行政側の理解が得られるよう惜しみない努力を払いたいと思っております。